

# 「殺虫剤抵抗性管理」の研究分野に「農業現場」の視点を提供

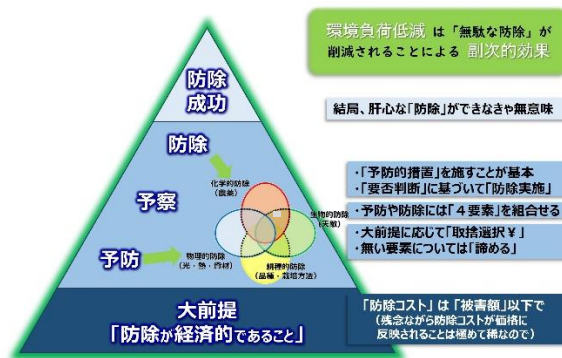
～第68回日本応用動物昆虫学会大会・小集会～

担い手支援課 令和6年4月5日発

3月28～31日、日本応用動物昆虫学会・仙台大会が開催され、その小集会「討論しよう！飛来性害虫の殺虫剤抵抗性管理」において、担い手支援課専門普及指導室から「現場で取り組む飛来性害虫対策」について情報提供しました。全国から集まった研究者やメーカー担当者など、延べ50人以上が参加し、活発な討論となりました。

薬剤抵抗性を発達させた飛来性農業害虫の侵入が全国で問題となっていますが、どう対処すれば良いのか、現場は苦慮しています。千葉県における適時な対応事例や、殺虫剤を上手に使って効果を最大限に発揮させ解決につながった事例を紹介するとともに、対策技術の選択肢が少ない露地野菜品目に使用できる新技術の開発を要望しました。

担い手支援課では今後も関係機関と連携し、新たな防除技術の開発に向けた情報交換を行うとともに、効果的な農薬使用方法の確立に取り組んでいきます。



経済的かつ効果的な「総合防除」



全国の関係者と現地情報を交換・共有